

第4回香芝市望ましい学校環境検討委員会
議事要旨

令和7年5月23日

○香芝市学校施設の再編等に関する基本方針の廃止について

- ・検討委員会での教育環境に関する新たな方向性が明確になったこと、新市長のまちづくりの方針との整合性を図ること等から、法制上の手続きを確認の上で廃止
- ・今後、検討委員会では新たな方向性を実現していくために、基準づくりについての協議を進めていく
- ・基準に当てはめて機械的に統廃合するのではなく、その時の状況に応じた検討となるような附帯事項が必要

○香芝市の望ましい教育環境について（修正案）

- ・香芝市においても教育の機会均等の観点等から実現すべき教育環境を確認
- ・よい地域がよい学校をつくり、よい学校がよい地域をつくる、という、相互に協力し合う関係を表す「地域とともにある教育環境」という文言を盛り込む形で決定

○適正規模・適正配置についての整理

- ・国の示す標準や教職員定数の概要、香芝市の教育に関する現状について説明
- ・不登校やいじめの問題に教育委員会としてのサポート体制をより充実させていくことが重要
- ・教職員不足の課題は全国的なものだが、香芝市でも対応が必要である
- ・定年延長という方法も検討してみてもどうか
- ・標準学級数は通常学級の数でカウントしており、国の通級等を進める流れもあるが、特別支援学級の数もカウントに入れてほしい
- ・教職員の加配等については、国の標準や財政負担を念頭に置きながらも、香芝市独自での検討も進めてはどうか
- ・施設の改修について、市内の学校間でばらつきのない形で進めてほしい
- ・通学距離の長い地域について情報共有をお願いしたい

○市民の意向の反映方法について

- ・市民の意向を確認することは必要であるという意見が多数
- ・調査方法、対象等については、目的を明確にした後に協議する
- ・引き続き学校運営協議会の場で、検討委員会の進捗の共有や意見交換を進める